

単元名 カードを使って(鑑賞)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) アート・カードの作品から動き、バランス、色や形のもつ特徴を見つけることができる。
 (2) アート・カードの作品を見比べたり、話し合ったりして、造形的なよさや美しさを感じ、自分の見方を深めることができる。
 (3) 主体的にアート・カードに描かれた形や色を見たり、話し合ったりして見方や感じ方を深める活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

05080201_001

【準備等】アート・カード(4～5人のグループに1セット)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 アート・カードに出会い、感じたこと思ったことを話し合う。</p> <p>★アート・カードを見て、自分の考えをまとめよう</p> <p>○アート・カードの作品を見て楽しむ。</p> <p>○アート・カードの作品を見て、思ったことや考えたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たこと・・・形、色、表情 ・感じたこと・・・不思議、動き出しそう。 ・考えたこと・・・どうして○○なのだろう。○○は△△みたいだ。 <p>2 カードを並べてオリジナルのストーリーをつくるゲームを行う。</p> <p>○気に入った作品を3～4枚選び、それを並べてオリジナルのストーリーをつくる。</p> <p>○自分が選んだカードと考えたストーリーについて紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書5・6上 P.16, 17 ・教科書を見ながら、アート・カードとはどのようなものか説明し、美術館などにいろいろな美術作品があることを知らせるとよい。 ・作品全体をとらえたり、部分を細かくとらえたりさせる。 ・同じ作品を鑑賞しても、その人によって感じ方や見方が異なることに気付かせる。 <p>【評】作品の中の動きや形、色の特徴を見つける活動を通して、「知識・技能」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に関して、感じたこと、見たこと、考えたことなどを言葉で表すことで、より主体的に鑑賞活動ができるようにする。 ・教科書の参考作品だけでなく、作品集や絵はがき、カレンダーなどの図版を参考にしてもよい。 ・時間があれば、文章で表すだけでなく、立体作品をつくったり模写したりして表現させてもよい。 <p>【評】アート・カードに描かれた作品の色や形を見つけたり、話し合ったりする活動の様子を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーだけでなくそのカードを選んだ理由やカードから感じたことも紹介させる。 ・友達の感じ方や見方で、自分では気付かなかった新しい感じ方や見方に気付かせたい。 <p>【評】作品から感じたことや想像したことを話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

特別の教科道徳との関連について

「B-(11) 自分の考えや意見を相手に伝えるとき、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること」と関連が深い。同じカードを見ても感じ方は人それぞれである。交流を通して自分と違う考えがあることを知り、理解を深め合うことができる。